



高専誕生60年！高専って？ 魅力を探る！！

高等専門学校「高専」は、大学と同じ高等教育機関であり、高校ではありません。5年間の一貫教育で、実験・実習・実技を重視し、大学と同程度の専門的な知識・技術を身につけることができます。専科（学士課程）もあり、実質的な「高・大一貫校」です。高専は元々「工業」「電気通信（情報）」「商船」の三分野で出発していたこともあり、ひと昔前までは理工学系や商船などの実践的技術者を養成するイメージが強くありました。しかし、近年ではIT革命にも即応し、すべての学科でコンピュータ教育が施されるようになっていきます。

他にも時代のニーズに合わせる形で、情報デザイン学科、経営情報学科、コミュニケーション情報学科、国際流通学科、生物応用化学科などの新しい学科が設置されている高専もあります。

近隣では国立木更津工業高専（千葉県）や都立産業技術高専（荒川区他）があり、四中からの進学実績もあります。

高専と高校 違いは何？

大きな違いは、「高校の3年間にに対し、高専は5年間」という修学年限の違いがあります。高専では、1年生から専門教育が施され、5年間の一貫教育の形で行なうため、プロフェッショナルとなるための専門的な知識を習得することが可能です。高校卒業後に短大や専門学校へと進学した場合とでは、専門知識の量に差が出ます。

2つ目に「学ぶ環境」の違いです。高校が広く社会に出るための教育であるのに対し、高専では技術者になるための実習を含む専門教育が施されます。そのため高校で教えるのは教員免許を持った教師であるのに対し、高専はそれぞれの専門科の博士号を持った教員による授業です。学生で早いうちからスペシャリストと触れ合う機会を持てる環境は高専の大きな魅力といえます。また、インターンシップも大変に盛んです。インターンシップとは、学生が就業前に企業などで行なう「就業体験」で、高専では地域産業界や地方公共団体等と連携し、例年約8000人の学生がインターンシップを経験しています。商船系の学科を除くほぼすべての国立高専がインターンシップを単位化している点も高校との大きな違いです。さらに海外に拠点を持つ企業の協力によって海外インターンシッププログラムもあります。渡航に際してはJASSO（独立行政法人日本学生支援機構）からの奨学金や渡航支援金も受けられるため、将来海外での活躍を希望する高専学生の目標です。

高専進学 メリットはこれだ！！

まず挙げられることは「15歳から専門分野の研究ができる」こと。中学卒業後から専門分野の研究ができるのは、興味のある分野や就きたい職業が決まっている人にとって大きな利点です。半導体工学やAIなどのプログラミング、遺伝子工学や建築デザイン等、研究したい分野の専門家が直接教えてくれ、実習や実験用の機材も充実しているなど研究に十分な環境が整っています。特に国立高専には企業からの技術相談・共同研究・受託研究の制度やインターンシップも充実しているので、実践的なより高い技術を身に付けることができます。

2つめは「国公立大学へ編入できる」ことです。ほとんどの国公立大学が高専からの編入を受け入れており、3年次への編入（東京大学・京都大学は2年次）が可能です。編入学とは、通常は入学に必要なセンター試験を受ける必要がないということです。高専の卒業生の約4割が大学への編入を希望し、本科修了者のうち進学希望者の進学率は97.8%と驚異的な合格率を誇ります。複数の国公立大学を受験することが可能なため、受験機会の多さも利点のひとつです。特に長岡技術科学大学と豊橋技術科学大学は、主に高専卒業者を受け入れるために創設された学校なので、毎年多くの高専学生が進学しています。大学への編入の他にも、高専の専攻科（2年制）への進学の道もあります。

3つ目は、「ほぼ100%の就職率」です。高専学生の約60%が就職しますが、就職率はほぼ100%です。20～30倍にもものぼる求人倍率と一流企業揃いの就職先の中でも、高専は非常に優位な就職状況です。専門的な知識・技術を身に付けており、即戦力になる高専卒業者は、給与面でも優遇されるケースもあります。

高専進学 テメリットはこれだ！！

1つめは「進路の変更が難しいこと」です。専門分野に重きを置いたカリキュラムを履修する反面、別の分野へと興味に移った際には進路の変更が難しい面があります。例えばほとんどの国立大学で編入を受け入れています、それは理工学部など専門学部でのこと。まったく分野が違う国公立大学の学部へと進学を希望する際には、他の高校卒業生と同じくセンター試験を受ける必要があり独学での受験となります。

2つ目は、高専学生は留年する人が多いことで有名です。旭川高専では2015～2017年度までの3年間の留年率を平均2.0%と公表（HP 旭川高専 Q&A）しています。全国の公立私立高等学校の留年率は全日制が約0.2%ですから、ほぼ10倍の留年率ということになります。留年が多い主な原因として「赤点が60点なこと」や、「レポートがあること」「出席日数を重視すること」です。高校ではテストが30点以下で赤点になるのに対し、高専の赤点はハードルがかなり高いと言えます。また、高専が高校ではなく大学に近い、自由なシステムであることも考えられます。大学に近い代表的な特徴は、レポート制です。基礎科目だけでなく、専門科目、実験の結果報告書などのレポート提出が必須。レポートが評価の対象となり、テスト重視の高校とは違うため、能動的に勉強しない人には厳しいシステムとなっています。

高専出身、益一哉・東工大学長に聞く！！

朝日新聞 EduA 2022年5月8日第59号より引用

例年、高専卒業者を受け入れている東京工業大学の益一哉学長は、神戸市立工業高等専門学校（神戸高専）の出身です。高専に進学した理由や在学時の思い出、現在の高専への期待や課題など語っていただきました。

著作権者への配慮から
掲載を差し控えます

高専「わが校の一押し」紹介！！

各校のHPの「キーワード」より一覧にしました。

学校名	都道府県	一押しの点	学校名	都道府県	一押しの点
函館高専	北海道	未来のリケ女見つけます	苫小牧高専	北海道	大学院生に負けず受賞続く
釧路高専	北海道	eスポーツ強豪校	旭川高専	北海道	収穫前に糖度・大きさ推定
八戸高専	青森	「自主探究」全校で	一関高専	岩手	JNSA学生賞に輝く
仙台高専	宮城	エコラン「くじら号」快走	秋田高専	秋田	20歳の野球部監督が白星
鶴岡高専	山形	気象観測装置で3位特別賞	福島高専	福島	「廃炉創造ロボコン」最優秀賞
茨城高専	茨城	高専バレー地区5V	小山高専	栃木	高専ロボコンで初優勝
群馬高専	群馬	科学協会から研究採択	木更津高専	千葉	コンクリート工学大会で受賞
東京高専	東京	プログラミングコンテストで全部門V2	サツオ高専	東京(私立)	EVでレベル3に挑む
産業技術高専	東京(都立)	ロボットプログラミングでV	沼津高専	静岡	自転車・深海 研究幅広く
長岡高専	新潟	インターハイ体操競技で新技術披露	長野高専	長野	インターハイ陸上投擲、フェンシングで活躍
富山高専	富山	ラガーウーマン、走る	石川高専	石川	インフラテクコンで地域賞
国際高専	石川(私立)	AIを用いたサル対策で最優秀賞	福井高専	福井	青武寮周辺草刈りボランティア
岐阜高専	岐阜	人命救助で表彰	豊田高専	愛知	ロボットアプリコンテスト優勝
近大高専	三重(私立)	インカレ陸上跳躍競技2冠達成	鳥羽商船高専	三重	農林水産業にIoT
鈴鹿高専	三重	巨大円柱に風神雷神図	滋賀高専	滋賀(県立)	令和の時代の滋賀の高専
大阪府大高専	大阪(府立)	プログラミングコンテストで僅差で準V	舞鶴高専	京都	電波巡り通信局長表彰
明石高専	兵庫	SDGsで最優秀賞受賞	神戸高専	兵庫(市立)	暑さ対策 地域で実証
奈良高専	奈良	ロボコンでキャプテン賞	和歌山高専	和歌山	防災教材開発し、優秀賞受賞
米子高専	鳥取	池の浄化活動で表彰	松江高専	島根	マイクロプラスチックの影響研究
津山高専	岡山	科学の五輪で文科大臣特別賞	広島商船高専	広島	船の自動航行に挑戦
呉高専	広島	地域防災で活躍	徳山高専	山口	インフラテクコンで最優秀賞
宇部高専	山口	工学技術とスポーツの融合	大島商船高専	山口	瀬戸内3商船漕艇大会7バック優勝
阿南高専	徳島	eスポーツ決勝大会進出	神山まるごと高専	徳島	テクノロジー×デザイン×起業家精神
新居浜高専	愛媛	ロボットソフト組込み競技銀賞	弓削商船高専	愛媛	離島工学 離島の課題を解決
高知高専	高知	超小型衛星を開発	香川高専	香川	AI活用の送電線点検で起業
有明高専	福岡	工作機械研究で奨励賞	北九州高専	福岡	農業用ロボ「トマトロボ」初優勝
久留米高専	福岡	海洋プラスチック削減へ動画制作	佐世保高専	長崎	外来種ハチ研究で最優秀賞
大分高専	大分	ミシン海外贈呈で表彰	都城高専	宮崎	空き家店舗 楽しく変身
鹿児島高専	鹿児島	地元食材使いシェフグランプリ	熊本高専	熊本	鋼橋模型製作コンペで活躍
沖縄高専	沖縄	難関ハブインフォマティクス認定試験合格			

